

2008 年度

科目名  日本語教育学概論 B	対象学科・学年 文学部日文1回生 文学部英米2回生	担当者  古川 由理子
授業テーマ 日本語教育の実情とその背景を概観する。		
授業の概要と目標 授業では以下の2点を目標にする。 (1) 日本語教育に関する基礎的知識を身につける。 (2) 文章の要旨をまとめ、それを口頭または文章で発表することができる。 予習を前提とした授業とする。必ず指定された箇所を授業までに読んでおくこと（予習シート配布予定）。		
評価方法 授業中の課題と後期レポートで総合的に評価する。出席および授業に取り組む姿勢を積極的に評価する。 出席・授業態度 60% + 後期レポート 40% 尚、レポートを提出しなかった者は原則として授業放棄とみなす。		
テキスト 『日本語教育を学ぶーその歴史から現場までー』	著者 遠藤織枝編	出版社 三修社
参考書 授業中に指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容  前期からの続きとする。  1. 第5章 どう評価するか (1) 2. 第5章 どう評価するか (2) 3. 第6章 さまざまな外国語教授法 (1) 4. 第6章 さまざまな外国語教授法 (2) 5. 第6章 さまざまな外国語教授法 (3) 6. 第7章 第二言語習得研究と日本語教育 (1) 7. 第7章 第二言語習得研究と日本語教育 (2) 8. 第8章 社会とことば (1) 9. 第8章 社会とことば (2) 10. 第9章 日本語教育をふりかえる (1) 11. 第9章 日本語教育をふりかえる (2) 12. 第9章 日本語教育をふりかえる (3) 13. まとめ および 後期レポートについて 14. 異文化理解ゲーム 15. <span style="border: 1px solid black;">後期レポート提出</span>  尚、受講者の状況によって、授業内容や進行状況を変更する場合もある。		